

はじめに

国土交通省では、平成 15 年の「美しい国づくり政策大綱」の公表以降、景観施策の拡充を図ってきました。公共事業においては、「国土交通省所管事業における景観検討の基本方針（案）」（平成 19 年）に基づく景観への配慮が行われており、一方、地域においては、「景観法」（平成 16 年）や「歴史まちづくり法」（平成 20 年）等に基づいて、地方公共団体が主体となった景観形成が進められています。

このような状況を背景として、「公共事業と地域が連携した一貫性のある景観形成」に対する社会的な要請が高まっており、公共事業の景観整備には、地域の景観形成やまちづくりに効果を及ぼすことを意識した取り組みが求められています。しかし、これまでは、公共事業における景観配慮が地域のまちづくりにどのような効果を及ぼすことができるのか、またそれらの効果はどのような取り組みによって発現するのかについて、公共事業の現場技術者が活用できる情報が整備されていませんでした。

そこで、国土技術政策総合研究所では、平成 22～24 年度にかけて「美しいまちづくりに向けた公共事業の景観創出の効果分析に関する研究」を実施し、公共事業の景観創出がまちづくりに及ぼす効果とその発現メカニズムの解明を行ってきました。

本資料は、これらの研究成果をもとに、公共事業における景観配慮が地域のまちづくりに及ぼす効果をわかりやすく示し、効果を多面的に発現させるための考え方や手法をまとめた技術資料です。本資料の作成にあたっては、「公共事業の景観創出に関する研究会」（座長・法政大学福井恒明准教授、当時）を設置し、3 年間にわたり議論を積み重ねるとともに、2 回の公開意見交換会を通じて、実務者からの意見も反映させました。福井座長ならびに委員の皆様をはじめ、議論に参加いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

本書が公共事業の現場で多くの方々に活用され、公共事業における景観配慮と地域の景観形成が連携した美しく魅力あるまちづくりの一助となれば幸いです。

平成 26 年 9 月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
防災・メンテナンス基盤研究センター
緑化生態研究室長 栗原正夫

公共事業の景観創出に関する研究会 名簿

<委員> (◎は座長、五十音順)

阿部 貴弘 日本大学 理工学部 社会交通工学科 准教授

石倉 智樹 首都大学東京 大学院 都市環境科学研究科 准教授

大沢 昌玄 日本大学 理工学部 土木工学科 専任講師

岡田 智秀 日本大学 理工学部 社会交通工学科 准教授

真田 純子 徳島大学 大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 助教

◎ 福井 恒明 法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 准教授

二井 昭佳 国土舘大学 理工学部 都市ランドスケープ学系 講師

<オブザーバー>

松田 泰明 (独) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 総括主任研究員

笠間 聡 (独) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 専門研究員

福島 秀哉 東京大学 大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 助教

<事務局>

国土技術政策総合研究所 環境研究部 緑化生態研究室

(所属・組織名は平成25年3月末時点)